



## 2 学年SSHコース課題探究第1回中間発表会

～ どのような課題を持って探究を始めるか、仮説と研究方法を発表しました ～

平成26年度2学年SSHコース生徒が、本年度1年間取り組む課題探究の第1回中間発表会を、6月2日(月)午後2時間実施しました。

本年度2学年SSHコース生徒31名は、9テーマに分かれて課題探究を実施します。

テーマは、「圧力分散型堤防の可能性」、「色素増感型太陽電池」、「フラックス法による人工ルビー結晶の生成～アルミナるつぼでのルビー生成と堆積でのルビーの育成」、「スプライトの発生条件」、「天然の抗菌シートは作れるのか」、「味噌の秘められた力に迫る」、「楽器音の解析と合成」、「「サボリ」が必要なアリ社会」、「振動反応」の9テーマです。



### ★ テーマはSSHコース生徒全員で約100種類のテーマを提案し、9テーマに絞りました ★

探究活動を始めるにあたって、先輩たちの取組んだ探究活動の中で引き継ぐべきテーマはないか、新たに取り組みたいテーマはないか、全国のSSH指定校の課題探究の報告集の中に興味を引く研究テーマはないかなど、図書館、SSH資料棚、インターネットなどを活用して課題を見出す取組みから始めました。また、3年生のSSHコースの生徒に助言を積極的に受けました。



こうして各自が取り組みたい、取り組む価値があるのではないかというテーマをSSHコース生徒全員で合わせて100余集め、それらのテーマが、探究に値するテーマか、高校生として相応しいテーマか、9か月余の期間で実施可能か、本校の施設で可能かなどの視点から同級生で議論しました。その結果、31名が9つのグループに分かれて探究活動を実施することになりました。

### ★ テーマ発表会には、3年生も出席して1年間の経験を踏まえて2年生に助言しました ★

6月2日の第1回中間発表会では、そのテーマを取上げた動機、そこにどのような課題を見つけて、どのような仮説のもとに、どのような方法で探究活動を実施するのかを発表しました。

中間発表会には、2学年SSH生徒の他に、3学年SSHコースの生徒も参加し、1年間の課題探究の経験を踏まえて、仮説の内容、研究方法の曖昧な部分にアドバイスをしました。テーマと課題の設定が高校生の課題研究に相応しいものかどうか、研究方法が適切かどうかなど課題も多いので、あらためてテーマ設定と研究方法をグループごとに検討しながら、研究を進めていくことになりました。

